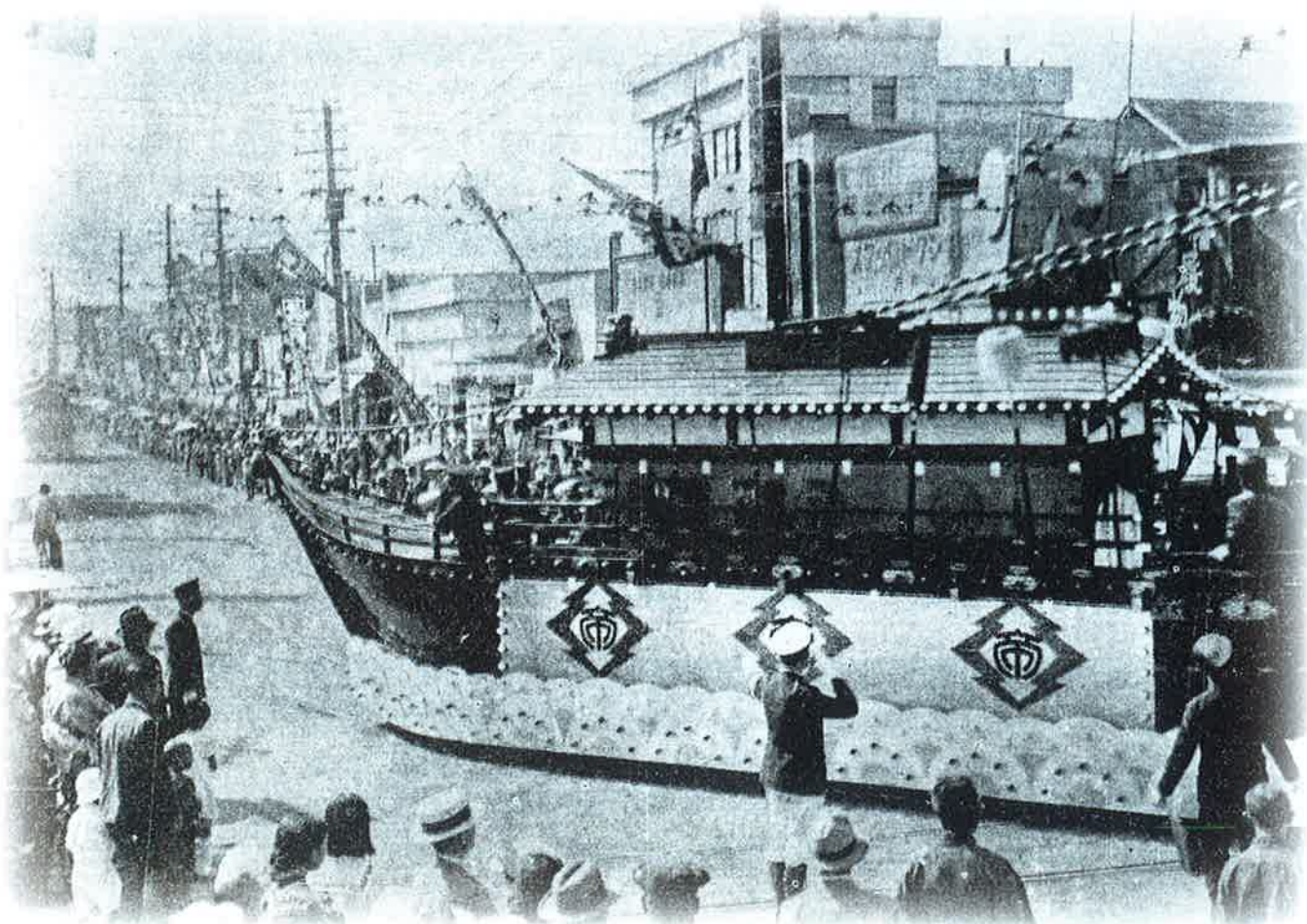


ともしえ

2012
8
No.353



CONTENTS

巻頭特集

函館～台湾間に 定期便就航

- ◆新入会員ご紹介 P10
- ◆企業探訪..... P12

函館商工会議所ホームページ
<http://www.hakodate.cci.or.jp/>



使うなら今!
70歳までの
雇用で

最高120万円



中小企業定年引上げ等奨励金

定年引き上げなどを行う場合、受給できます!

どんな会社?

- 就業規則等に60歳以上の定年を規定している会社が、定年を引上げ又は定年を廃止するか、希望者全員を継続雇用する会社
- 定年引き上げ等導入日前1年間、高齢法8・9条に違反していない会社
- 1年以上勤務している60歳以上の雇用保険被保険者が1名以上いる会社

いくらもらえる?

<平成24年4月1日以降に定年を引上げた就業規則を施行した場合>

企業規模(人)	1~9	10~99	100~300
(a) 定年の引上げ (65歳以上70歳未満)	40万円【20】	60万円【30】	80万円【40】
(b) 定年の引上げ(70歳以上)、 定年の定め廃止又は希望者全員 70歳以上の継続雇用制度の導入	40万円【20】	80万円【40】	120万円【60】

※【】内の数字は、支給申請日の前日において当該事業主に1年以上継続して雇用されている64歳以上の雇用保険の被保険者がいない場合に支給される額です。

シニアパワーの活用で企業経営パワーアップ

シニアパワー 活用のメリット

- ・豊富な知識、経験、ノウハウを経営に活用できる
- ・長時間の作業の仕事でも集中力をもって仕事に臨める など

シニアパワーの 活用事例

- ・技術・技能の継承の役割を担うインストラクターとして活躍
- ・中途入社社員の教育担当者として活躍
- ・顧客満足度をヒアリングするサービスマネージャーとして活躍
- ・相互牽制のためのチェッカーとして活躍 など

高齢者等雇用の安定等に関する法律により平成25年4月1日から65歳までの雇用を確保する必要があります。それに伴い本助成金が廃止もしくは改定になることが予想されます。活用するなら今!是非お問い合わせを下さい。相談は無料!!

SATO社会保険労務士法人では、上記助成金のほか地域再生中小企業創業助成金など様々な助成金を取り扱っております。助成金受給のための書類作成や提出代行はもちろんのこと、各企業の条件や状況に合わせて、御社にマッチした助成金制度の活用方法を提案させていただいております。無料の説明会も実施しております。お気軽にお問い合わせください。

SATO社会保険労務士法人

☎0138-42-2929

住所 函館市大縄町4番10号
<http://www.sato-group.com/sr/>

平成24年8月10日発行（毎月1回10日発行）

函館商工会議所報

ともえ

8月号

(通巻353号)

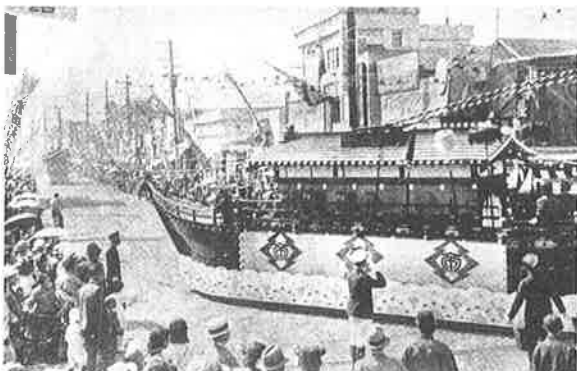
■今月の表紙

「花電車御座船」

写真は昭和10年に開催された第1回函館港まつりの花電車御座船を撮影した一葉です。

函館港まつりは、前年の大火により意気消沈していた函館を盛り上げようと、昭和10年7月1日から盛大に開催されました。当時の記録を見ると、3日間の人出は延べ30万人、市街からは7万人が訪れ、開港以来のにぎわいで大盛り上がりだったようです。

(函館市中央図書館所蔵)



CONTENTS

- 2 特集
函館～台湾間に定期便就航
- 4 会議所のうごき
 - 第62回全道商工会議所大会
 - 2012合同企業説明会
 - 第65回函館地区珠算競技大会
 - 新規学卒者の雇用について要望を受ける
 - 海の日記念式典
 - 災害時多目的船の整備等に関する中央要望
 - 第41回観光土産品試買検査会
 - 開港153周年記念函館港まつり
 - 女性会
 - 青年部
- 8 中小企業相談所だより
 - 各種セミナー
 - 平成24年度金融制度の手引発行
 - 個別専門相談日程
 - マル経融資
- 10 新入会員ご紹介
- 11 新幹線情報
- 12 企業探訪
 - (株)南北海道社中
- 14 福利厚生支援サービスのご案内
- 15 各種検定試験のご案内
- 16 連載コラム 快進撃企業に学べ
 - 流行や景気を追わず、地道な経営を続けるまちのふとん店

広告掲載企業

SATO社会保険労務士法人	表紙裏
(株)テーオー小笠原	裏表紙裏
(株)JTB北海道函館支店	裏表紙
(業)英知国際特許事務所	段下
中小企業基盤整備機構	段下
(株)エスイーシー	段下
(株)誉食品	段下
(株)エス・ピー・ネットワーク	段下
龍文堂印刷(株)	段下
第14回黒豚バーベキュー祭り	折込
地域活性化特別講演会	折込

特集

函館～台湾間に 定期便就航

函館空港の新たな国際定期航空路線として、函館と台湾を結ぶ定期便が、9月9日に復興航空、10月28日にはエバー航空と、それぞれ就航いたします。

待望となる函館～台北線の定期便就航により函館空港の国際定期航空路線は韓国ソウル線に続く2路線目となり、北海道人気根強い台湾からの観光客が一段と増加すると同時に、函館や道南地域からのツアー客などの利用も見込まれ、函館と台湾の双方による観光客の入り込みが期待されています。また、観光交流はもちろん、両地域の経済・文化交流の活性化についても大きなプラス材料になるものと見られており、国際観光都市としての魅力の向上や更なる国際化の推進に繋がるものと期待されています。

函館～台北線は、復興航空が日曜と月曜に就航し、機材はエアバスA321で座席数182席。エバー航空が日曜と水曜、機材はエアバスA330-200で座席数が252席となっています。(エバー航空は暫定) また、復興航空は函館空港をはじめ新千歳、旭川、釧路の道内4空港においても従来より就航していたチャーター便を定期便とします。

現在、函館を訪れる外国人観光客の中で最も多いのは台湾人観光客となっており、チャーター便の搭乗率も7割を超すなど好調を維持し、平成16年のピーク時には年間833便のチャーター便が運航、約13万人が函館を訪れました。また、昨年の東日本大震災の際も、一時は国際線が全て運航休止となり、ソウル線が同年12月まで休止するなか、台湾からの

運航スケジュール

■復興航空

区間	便名	出発地	到着地	出発時刻	到着時刻	運航曜日
函館～台北	GE673	函館	台北	15:00	18:05	日・月
	GE672	台北	函館	09:05	13:45	日・月

A321型機 計182席

■エバー航空(暫定)

区間	便名	出発地	到着地	出発時刻	到着時刻	運航曜日
函館～台北	BR137	函館	台北	16:10	19:40	日・水
	BR138	台北	函館	10:25	14:55	日・水

A330-200型機 計252席

チャーター便は5月にいち早く再開し、函館観光の人気の高さが見られました。

このように函館の人気の定着している台湾に対して、本所ではかねてから観光客誘致訪問団を派遣し、復興航空、エバー航空をはじめ大手航空会社に対し定期便の早期就航やチャーター便の就航要請、旅行会社には函館の魅力をPRし更なる観光客の集客を図るなど、官民一体となった積極的な観光プロモーション活動（右表参照）を行ってきましたが、長年にわたるこれらの誘致活動が実を結び、このたびの定期便就航が実現となりました。また、定期便就航という好機を生かすべく、（仮称）道南台湾観光友好協会を設立し、道南地域と台湾との相互理解を深め、観光・文化・経済等の民間交流を促進し、双方の親善と友好に寄与することを目的に各種事業を行っていく予定となっています。

台湾の基本情報

- 面積 約3万6000km²（九州の約6/7）
- 人口 約2300万人
- 首都 台北
- 言語 公用語は中国語
- 通貨 台湾元（1元＝約3円）
- 気候 北が亜熱帯気候、南が熱帯気候
- 時差 日本との時差は－1時間



平成23年度 主な台湾観光客誘致活動

5/16 エバー航空北海道視察旅行関係者との懇親会

7/4 復興航空北海道視察旅行関係者との懇親会

東日本大震災により函館を訪れる外国人観光客が激減するなか、震災後の北海道の安全を確認するために実施された2社の北海道視察旅行において、函館を訪れた台湾旅行代理店やメディアなどの関係者を招いての懇親会を開催。風評被害に苦しむ函館観光の安全性を主張しました。

10/30 台湾ミッション2011

北海道観光・物産プロモーションin台北において、函館のPRブースを設け、台湾人に非常に人気の高い北海道や函館観光の魅力をPR。翌日には、観光情報をプレゼンテーションした観光セミナーや台湾旅行会社等とのビジネス商談会を実施しました。また、関係者を招いての夕食会では、相互の情報交換を行うなど交流を深めました。

11/30 青森・弘前・函館合同台湾プロモーション

青森・弘前・函館による初の合同台湾観光プロモーションを実施。復興航空・エバー航空などの航空会社をはじめ、主要旅行会社5社を訪問し、青函圏の魅力をPRしました。なお、この訪問により台湾との一層の連携強化を図ることができ、12月3日には台湾観光協会の江所長をはじめ3名が来函され、クリスマスファンタジーの点灯式に参加されました。

2/5 台湾観光客誘致訪問

台湾の一大イベントである鹿港ランタンフェスティバルの点灯式に参加し、頼観光局長との晩餐会において交流を深めました。また、同フェスにおいて函館のPRブースを設け、来場者には珍味の無料配布などで函館をPRし、翌日には、復興航空・エバー航空など大手航空会社に対して定期便の早期就航要請を行い、旅行会社には来るべき北海道新幹線時代を見据え、青函広域観光の魅力を紹介しました。

第62回全道商工会議所大会

各地商工会議所から提出された議案及び特別提案を承認

北海道商工会議所連合会主催による第62回全道商工会議所大会が去る7月7日、日本商工会議所岡村会頭をはじめとする多数の来賓、また、全道42商工会議所の役員・議員・職員など合わせて500名が出席のもと、旭川市において開催されました。

本大会では、各地商工会議所から提出された景気対策・中小企業対策・税制対策・まちづくり対策など16項目にわたる議案及び特別提案2項目について協議を行い、満場一致で承認されました。なお、承認された議案及び提案は去る7月18日に、

関係省庁を訪問し、本道選出国會議員等に対して中央要請を行いました。



▲開催に先立ち挨拶を行う北海道商工会議所連合会高向会頭

■2012合同企業説明会

155名が企業ブースを回り就職活動に取り組む

本所・(公社)函館法人会・(一社)北海道中小企業家同友会函館支部の三者共催による「2012合同企業説明会」を去る7月4日、ロワジールホテル函館において開催しました。

同説明会は、来春卒業見込みの大学・短大・専門学校生や、Uターン就職希望の社会人などを対象に毎年実施しており、市内はもとより、道内各地や本州方面から総勢155名が会場を訪れました。会場内では、スーツに身を包んだ若者が希望企業のブースを回り、各企業の採用担当者から

の熱心な説明に聞き入る姿や、採用担当者へ自己PRで就職に対する意欲を示す姿などがみられ、活気あふれる説明会となりました。



▲採用担当者の説明を熱心に聞く参加者

■第65回函館地区珠算競技大会

全道大会出場に向けてそろばんの腕を競う

第65回函館地区珠算競技大会を去る7月8日、49名の選手が参加のもと本所会議室において開催しました。

本大会は、9月23日に釧路市で開催される全道大会の予選を兼ねており、参加選手はそれぞれ、一般・高校の部、中学校の部、小学校5・6年生の部、小学校4年生以下の部に分かれ、個人競技、読上暗算、読上算の競技でそろばんの腕を競い合いました。

競技結果は、「そろばん函館一」に八木泰樹さん（株エスイーシー）、「そろばん中学生一」に齋藤淳之介君（道教大附属函館中学校）、「そろばん小学生一」に飯田悠介君（道教大附属函館小学校）が決定し、小学校4年生以下の部では山形風花さんが優勝しました。



▲各部門の優勝者（右から）齋藤君、飯田君、山形さん

■新規学卒者の雇用について 要望を受ける

北海道渡島総合振興局中西局長らが来所

去る7月12日、北海道渡島総合振興局の中西局長らが本所を訪れ、新規学卒者の雇用についての要望書を松本会頭宛に提出しました。

中西局長は、「本年3月の新規学卒者の就職内定率は86%と過去10年では2番目に高い数値となったが、少子高齢化が進み、労働人口が減少する状況のなかで、今後とも地域経済の発展を図る

ためには、新規学卒者に対する求人枠の確保と拡大が非常に重要である」と説明したうえで、本所会員の皆様においても地域の雇用対策についてご理解とご協力をいただけるよう強く訴えました。



▲中西局長（右）から要望書を受け取る酒井専務理事

■海の日記念式典

21名の海事功労者を表彰

海の日を祝う会（会長：松本会頭）主催による海の日記念式典を去る7月17日、五島軒本店において開催しました。

当日は、海運業務や港湾の振興発展に尽力した21名に各表彰が贈られた後、港を核とした住民参加型の活性化事業を行っている地域として去る7月9日に認定された「みなとオアシス函館」の登録証の授与が行われました。

また、この式典に先立ち、元町の船魂神社において、海上安全祈願祭が行われ、兵頭実行委員長らが出席のもと玉串を捧げ海上と航海の安全を祈りました。



▲開催に先立ち挨拶を行う松本会頭

■災害時多目的船の整備等に関する中央要望

病院船の早期整備を求める

災害時多目的船の整備等に関する中央要望が去る7月25・26日の両日、工藤市長、松本会頭らが参加のもと地元選出国會議員や国土交通省の関係部局等に対して行われました。

災害時多目的船は、病院船とも言われ、昨年の東日本大震災の教訓により、我が国にも配備が必要とのことから超党派による議員連盟で検討を重ねているところです。

当市は、首都圏と同時に被災するリスクが低く、太平洋と日本海のいずれにも迅速な救援活動が可能であることなどから、国主導による災害多目的船の早期整備を強く要望しました。



▲議員連盟衛藤会長に要望する松本会頭

■第41回観光土産品試買検査会

必要表示事項等を審査し品質向上を図る

第41回観光土産品試買検査会を去る7月27日、本所会議室において開催しました。

本検査会は、観光土産品の表示に関する公正競争規約の周知徹底並びに土産品の品質向上を図ることを目的として毎年開催しているものです。

当日は、函館駅前や五稜郭、大沼公園など市内及び近郊の主要観光地で無作為に購入した農水産品30点、菓子20点に関し、「必要表示事項」や「過大包装の禁止」「不当表示の禁止」などについて14人の審査委員による厳正なる審査が行われました。

その結果、一部商品については、表示等に関する不備がみられたことから、今後これらの商品の

製造元（販売者等）に対し、事務局より改善要望していくこととしています。



▲厳正な審査を行う審査委員

■開港153周年記念函館港まつり

大いに盛り上がりを見せ、盛会裡に終了

函館港まつり実行委員会主催による市制施行90周年・開港153周年記念函館港まつりを去る8月1日～5日の日程で開催しました。

今年の港まつりは天候にも恵まれ、1日には夏の夜空に花火が輝き、約7万人の観客を魅了した道新花火大会、2日と3日の両日には、大門と五稜郭コースにおいてワッショイはこだてが行われ、特別招へい団体として参加した東京ディズニーリゾートをはじめ各団体の延べ2万人が踊りながら街を練り歩き、参加者の熱気溢れる踊りと、沿道に詰め掛けた観客の声援が重なり、街全体が多いに盛り上がりました。また、5日には函館ペリーポート競漕、歩行者天国、ワッショイはこだてコンテスト表彰式などが行われ、函館最大のイベントである港まつりは、連日多くの来場者で賑わいを見せ盛会裡に終了しました。



▲大きな歓声があがった東京ディズニーリゾートのパレード

■女性会

ワッショイはこだてに参加

8月例会を去る8月2日、内山会長をはじめ女性会メンバー、銭亀沢地区女性部ら総勢58名が参加のもと開催しました。

当例会では、毎年函館港まつりのワッショイはこだてに参加しており、今年も十字街・松風コースにおいて夏の日差し浴びながら、心地よい汗を流し、踊りを披露しました。また当日は、東京ディズニースーパースタジアムからミッキーとミニーマウスもパレードに加わり、大いに盛り上がりを見せました。

パレード終了後は、直会で親睦を深め、和やかな雰囲気の中、盛会裡に終了しました。



▲松本会頭、永井副会頭を囲んで

■青年部

□7月例会

コンベンション委員会の主管による7月例会を去る7月24日、ロワジールホテル函館において開催しました。

当日は、函館市教育委員会生涯学習部の種田貴司部長を講師に招き、「函館アリーナ新築基本設計(案)について」と題し、コンベンション委員会が提出したパブリックコメントなど多くの市民、団体の意見を踏まえ基本設計を行った旨の説明があり、活発な質疑応答がなされました。

また、委員会発表では、「函館におけるホスピタ

リティ向上とはこだてスマイルキャンペーン」のテーマで、7年間に亘り実施した「はこだてスマイルキャンペーン」事業のこれまでの成果の検証結果を報告し、函館観光における今後のホスピタリティ向上策について提言を行いました。



▲函館アリーナの新築基本設計について説明する種田部長

□会員親睦交流会

青年部の毎年恒例事業として、会員相互の親睦を深めて今後の全体事業をより積極的な活動に繋げることを目的とした会員親睦交流会を去る7月28日、青年部OB会員も加え開催しました。

日中に行われた第1部のゴルフコンペ並びにボウリング大会は、函館シーサイドカントリークラブ、ボウルサンシャインを会場にそれぞれ開催され、参加者はプレーを楽しみ、汗を流しました。

また、第2部の懇親会では、第1部の表彰式並びに各委員会対抗のゲームを行い、大いに盛り上がりを見せ、盛会裡に終了しました。



▲開催に先立ち挨拶を行う高野会長

中小企業相談所だより

金融

経営改善

税務

労務

法務

新規創業

取引照会

情報化

環境対策

などでお悩みはございませんか？ どんなことでもお気軽にご相談下さい

「絶対受注できる名刺作成法」セミナー

名刺から仕事につながった経験はありますか？「名刺交換は形式」「名刺は連絡を取るもの」今日までそう考え、日常の現場で有効活用ができず、機能していなかった名刺が明日から生まれ変わります！自分の経験と自分の使命を盛り込んだ、世界に一つだけの「絶対受注」の名刺を作りましょう。本セミナーでは、講師自身の体験と結果や「絶対受注」できるかどうかの分岐点を事例も交えて、仕事が取れる名刺の作り方をお伝えいたします。

講師

福田 剛大氏

サイ・クリエイション代表

講座内容

- ①たった3秒名刺交換しただけで50万円受注した名刺とは
- ②誰にもできる「絶対受注名刺」の作り方
- ③名刺を起点にした営業ツールの活用術 ほか

●日時 平成24年8月23日(木) 14:00～16:00

●場所 函館商工会議所 3階会議室 (定員50名 参加無料)

●問合せ・申込み先 経営支援課 (担当: 鎌田) TEL23-1181

主催/函館商工会議所
函館アパレル服飾協会

「現代における危機管理的顧客対応指針」セミナー

～インターネットの影響も踏まえたクレーム・不当要求への実銭的対応要領～

昨今、消費者意識の高まりと、インターネット媒体の急速な発展により、企業における顧客対応の様相も大きな転換期を迎えています。顧客の声に真摯に耳を傾け業務プロセスの改善を図るクレームリスクマネジメントが一層重要になる一方、不当要求も増加している現状を踏まえた不当要求対応力強化による、ロスの低減も重要になってきています。

また顧客対応の内容がインターネットに掲載されたり、インターネットメディアを通じて口コミが広がる現状に鑑み、今回は実際の難クレーム対応や各種顧客対応コンサルティングの実践から導かれた実務指針をお話しいたします。日々顧客対応に悩まれている担当者の方、現代企業における顧客対応の基本を改めて確認・整理してみましょう。

講師

西尾 晋氏

(株)エス・ピー・ネットワーク

コンサルティング事業本部 主任研究員

講座内容

- ①現代における顧客対応リスク
- ②顧客対応の基本要領
- ③クレームを活かす～顧客満足度向上のために
- ④顧客対応をめぐる現代的事情とその対策

●日時 平成24年8月28日(火) 14:00～16:00

●場所 函館商工会議所 3階会議室 (定員50名 参加無料)

●問合せ・申込み先 経営支援課 (担当: 鎌田) TEL23-1181

主催:函館商工会議所 函館販売士協会

平成24年度版 金融制度の手引を発刊しました

本所では、各種融資を利用する際のチェックポイントや国・道・市の制度融資をまとめた手引(A4版94ページ)を発刊しました。

手引をご利用される方に本所窓口にて無料配布しております。(郵送は行っておりません)
なお、部数に限りがございますので、お早めにご来所のうえ、お受け取り下さい。

金融制度の手引

